

口腔機能低下症 の

保険診療機器

～わずか2秒の簡単測定～

口腔水分計ムーカス[®]

医療機器承認番号 22200BZX00640000



価格 ¥95,000

*価格は希望医院価格です（価格に消費税はふくまれておりません）。

専用センサーカバーの装着方法および測定方法の動画です



専用センサーカバー（120枚入り）

価格 ¥12,000

口腔乾燥を**数値化**できる医療機器です。

口腔水分計ムーカス® の測定について

必ず専用のセンサーカバーをご使用ください。（感染予防のため、患者ごとに交換し、繰り返し使用しないでください。）

詳しい使用方法は、添付文書をよくお読みください。

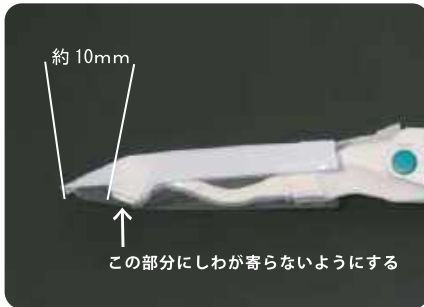
【測定方法】

埼玉医科大学を中心とした多施設共同研究による

測定する前は5分程度、身体的・精神的に安静状態とする。

連続3回測定し、その中央値を測定値とする。（センサーの圧接角度により生じるはずれ値を除外するため）

【正しく測定するために】



センサーカバーは、透明フィルムと乳白フィルムの2枚構成となっています。透明なフィルム部分がセンサーに軽く触れる程度のところまでかぶせます。その際、カバーの先端を約10mm余らせ、センサー部分にしわが寄らないようにしてください。



舌を突出した状態で、センサーの全面が舌背の測定部位（先端から約10mmの舌背中央部）に垂直になるように一定の測定圧（200g以上）で圧接してください。「ピッ」という音で測定が開始され、そのまま約2秒間押し続けてください。「ピピッ」という音が鳴れば、測定終了です。「ピピッ」と鳴る前に測定部位からセンサーが離れると「ピー」という音が鳴り、エラー（E-1）表示になります。その時は、一度測定部位からセンサーを離して、もう一度測定します。正常に測定できた場合も、同様にすることで連続測定を行うことができます。

【測定が安定しない場合】



舌の下に指を添えて舌が固定された状態で測定すると、より安定した測定を行うことができます。
*同一の測定者においても測定誤差が生じることがありますので、適正な測定角度（垂直）および測定圧（200g以上）について事前に十分に訓練を行ってください。

【基準値】

	数 値
正常	29.6 以上
境界域	28.0 ~ 29.5
乾燥	27.9 以下

*測定値28.0~29.5を境界域とし、27.9以下の場合は、口腔内が乾燥状態であることが疑われます。
*口腔機能低下症は27.0未満を口腔乾燥とする。
*表示される数値は、相対値のため単位はありません。

【専用センサーカバー】



同梱の専用センサーカバー（20枚）を全て使用した後は、別売りの専用センサーカバー（120枚入り/箱）をご購入ください。
*専用センサーカバーを使用しないと、故障の原因になります。
*測定値 99.8 は、センサーに直接水が付着しているか、水分が残った状態です。

【汚れが気になる場合】

本体：布等をぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭いてください。
センサー：アルコール綿を固くしぼったもので拭いてください（センサーを清掃した場合は、半日程度の自然乾燥後、ご使用ください）。

ジーシーグループ



【販売元】

株式会社 日本歯科商社

東京本社：〒130-0011 東京都墨田区石原 1-19-5 TEL (03) 3625-3111
大阪支店：〒556-0005 大阪市浪速区日本橋 4-3-9 TEL (06) 6643-0085
北海道営業所：〒001-0016 札幌市北区北16条西5-3-18 TEL (011) 716-7001
九州営業所：〒812-0893 福岡市博多区那珂 4-16-22 TEL (092) 436-2288

【製造元】

株式会社 ライフ

ご用命は